

「ハッ場ダム建設事業の検証に係る検討報告書（素案）」に対する関係住民の意見聴取

平成 23 年 11 月 6 日（日）13:00~14:00

国土交通省ハッ場ダム工事事務所川原湯総合相談センター

発言者：意見発表者 5

5 番の●●●●と申します。高崎市でございます。私この素案を読ませていただいて素案以前の問題だと思いました。読解力がないのもありますけれども、今日はそれ以前のこと話させていただきたいと思えます。まずですね、今のお方のお話しでもあったように、現地の実態に学ぶべきではないかと存じます。そしてですね、この素案とてもまあ微々微細に出来て、頭の良い方が作ったのはわかるんですけども、普通、法案とか何かが決まるときに私達国民は、飛びつくような期待感と躍動感があると思うんです。でもこの素案を読んでも、えーほんと？こんなこと嘘だよ。ここんとこ書いてないじゃないの。と思いつつ失礼ながら読ませて頂きました。それはですね、本当にこれ、現地の実態が書かれていない。そして机上のダム最初にありきというこのことによってしかしない。だから一介のおばさんでも感動がないんです。そして聞けば聞くほど、知れば知るほど、ハッ場ダムって大変理不尽、不合理、そして何でこんなものが今の時代にあるのと。21世紀はようやく私達は、環境と人権の世紀といわれるように到達いたしました。その中で、旧体以前の世紀末の20世紀のですね、残光を引きずっているようなものであり、今や3.11以後、国民は誰も原発の国策、原発とダムは、国策という名のもとに、まさに強力に推し進められてきました。本当に私も単に原発の抗議行動等に座っているだけですけども、あの圧力を受けたものとしては、ほらご覧なさいと思う、思いたいです。不謹慎ですけども。そしてその同じ構造が、相似形ですよ。まさにダムの中には、内包されています。今の方のご発表にもあったように、当時のダム、反対期成同盟の生き残りの人達に聞いてみてください。ほんとに同じ今を生きる人間として涙がでます。臆するものがあります。そしてこれにはっきり言って国は、説明責任をきちんと行うべきですよ。次々に良いことばかり言って説明会、選ばれた役員ですよ。そして挙げて言えば、この会に出れば、日当が貰えるんですよ。ある人言いました。日当で結構暮らせるんさ。と。ここまで人間を貶めますか。まさに人間、人権無視の、人権蹂躪に等しい施策でありました。一部の有力者の、はっきり言ってこれ政治ダムじゃないですか。そして今も現在、あきらかに現地を歩けば一部の有力者のための事業でしかありません。現実を挙げろと言えば時間がある次第挙げさせて頂きとうございますけれども。これに対して、ただですね、私ちょっと言葉がすぎる点もあると思えますし、これからどんどん激化するかもしれませんので。最初にお断りさせて頂きますと、はっきり言って私は今、私に接して下さったこの間、約11年間ですね、接して下さった職員さんに対しては感謝しております。とても皆さん人間の響きをもって、この至らないおばさんに、ほんとに暖かに接して頂きました。ですからお一人お一人を責めているわけではございません、でも国策という名の元に国交省河川局のトップの命令によるんでしょうけれども。それから絶対に発表しても良いというまでは公務員さんの守秘義務において、絶対に話せないこともあるんでしょうけれども。その辛さもわかります。ですのでこういうはっきり言って素案を作らなければならない。期日までに作らなければならなかった。そのお辛さと大変さは、理解しているつもりでございます。ですけども言葉過ぎますけれども、その現実を語らせて頂きます。さてこの素案の中にヒ素問題と、含む吾妻川上流総合開発事業について、欠落しており

ます。たしかこれ、そのことについて私も検討の場で傍若無人に、聞きました。そしたら事業が、違うんだと、しかし八ッ場ダムを作って堰止めたら、これあきらかにですね、白砂川沿いでやっている中和事業と同じものをやらないとならないでしょ。そして、この開発事業につきましては一旦ダム計画は中止した。しかしこの水の中和化、言葉がなんかタイプの聞きなれない言葉でうまくぼかしてありましたよね。でも実態はここを中和化することじゃないですか。密かに進んでいると思います。で、そういうこともこれダム経費に入るわけですよ。これ事実でございせんか。600億円でできますか。それからもっと許しがたいのは、地すべりですよ。これ言っていると私なんか、全然関係ないこと言ったって職員と窓口のみなさま方にご迷惑かけますから、概略版で申しますと13ページ、それからですね、次の14ページ、15ページ、16ページぐらいまでは、関係すると思います。地図こんな地すべりがあることをはっきり言って国交省さんは、お金がない、お金がないって、この今回の要望用紙も印刷してくだされませんでした。私21日に国交省さんをお尋ねしました。情報公開室ですが、そしてないんですよ、そこに。でもね、いくら金が足りなかったって、こんな大変なことを地域に一軒一軒に謝って、そしてね、全部配布すべきですよ。はっきり言って8月8日、川原湯の代替地、打越の代替地行きました。とっても利口そうな少年でした。僕は、怖いんです。こんな凄い雨が降ったら、これから僕たちどうして行くんだと思います。そういう不安が代替地のみなさんにはあるんですよ。にも関わらず、先ほどあれですよ、●●●●●が言ったようにあそこの法面、大変勾配が良いと聞きましたけれども、勾配の問題じゃないでしょう。はっきり言って、浅間山の噴火ででた残土の残った石を積んだんだって。なんか、すごい自然工法の良い名前をおっしゃってましたよ。でも私も記憶力も失せておりますから忘れましたが、えーっ言うような、まさにときめきを覚える名前でしたよ。何とか工法です。そんなことってやられますか？本当に。あたし半までですよ？それで、あと7分ございます。言いたいこといっぱいあります。で残るですね、では素案に沿わないとルール違反でしょうから、13ページに進捗率が、家屋移転が90%、用地取得が、87%。しかしですね、これ現地歩けばわかるように、この残りの%が大変なんじゃないですか。それから87ヶ月でできますか。みなさん方、今まではっきり言ってダムを見ていてどんどん延びていって最初の桁が違うくらいの経費がかかっているじゃないですか。だからこういうところですね、本当に机上の空論としか申し上げられないです。そしてその中で事業費が投入されていますけれども、事業費って正確に使われてますか。説明する間がありませんから言わせて頂きますけれども、例えば怪事制作としか言いようがない、関東建設弘済会にある、自分史制作ですよ、最初どこもワンパターンに進められているんですけども。賛否両論で八ッ場ダムでは10人作らせました。でそのですね、念のため現物があるんですよ。一人総額6000万というお金がかかっております。ところがですね、2回情報公開とりましたけれどもどこにもないって言うんです。国会図書館に本来ならば私達市民は、一冊寄贈しますよ。それも国の機関である国土交通省はしておりません。そしてどこにもないって言うんですよ。ある心優しい職員さんが自分も読みたいからといってあちこち捜してくれましたが、2回ともないという返答をもらっております。これどういうんですか。現物にかかれた人のゴーストライターが10名付きます。そのゴーストライターさんが言いました。あわないことは書かないでくれと何度も書き直しをさせられたと。●●●●●さんの本です。一番●●さんが県立図書館に「湖底の蒼穹」というのを寄贈しておりますので、おわかりになると思いますが、あれさえも、書き直しも何回かして、その手紙もございます。それから高規格道路には、はっきりいって、これ最近の問題でいきましょう。高規格道路には、信号を付けちゃいけない。そうですよね。それが建前の私なんかすっかりだまされちゃって、思っております。ところがですね、現実にあるじゃないですか。めがね橋のところ、そして今度406号と交差するところ、今、地権者とだいぶ揉めましたけれども、大変経費のか

かる、本来ならば、JR のトンネルは、上にはわせないようなもの。あれはトンネル工事になりました。それは地権者と折り合わなかったからです。で、まわりにはごね得っていいですけども、でもね、先祖伝来の何百年と続く土地を、嫌だという地権者の意思で通らないものなんですか？そしてあげくの果てはここのお宅というか親族に、圧力をかけました。かけようと思いました。それも地域の入れ知恵でございます。はっきり言って。そういうことがこの世紀に行われているんですよ。今日、現在、これ一年経たない、半年近くのことですよ。一つ一つ思うと腹ただしくなってしまうんですけども。じゃあ、そして、事もあろうか、お偉い有力者のところはなんと高架になるんですね。信号が出来ない理由です。あの辺のお年寄りが、お風呂に行くのも大変だから是非信号付けてくれって。あれ、私でも渡るの大変で怖いですよ。おっかないですよ。Uターンするの、Uターンじゃなくて右折や左折するときに怖くて怖くてしょうがございません。それを歩いて今のお年寄りは歩いてお風呂に行くんですよ。まあ今度は高架ができたからお風呂も行けますから良いですけども。そういう弱い人の事は聞かないで、一部有力者のところへ、確か平成8年の図面にはございます。だけれどもなぜ、あんな上のお宅が横壁行かたびに、なんだか妙な、国交省さん、ございましたよね。もう行かたびに道が変わって、どこに行くの。工事の人も言ってました。どっかの家に終電するんさと。まあ、これ以上は申しあげられませんが、はっきり言って。やめます。あとヒ素の問題言いませんでしたけれども、これ、土捨て場です。これあれですよ。セメントと硬化したならば、硬化と言っているんですよ。国交省さんは。ある科学者の2年前の論文でしょうか。三塩価ヒ素となる。科学反応を起こした場合にはヒ素になると言われています。そして、これが全くご存じのとおり野積状態です。管理型ではございません。でもこのこと今回の素案には何もないじゃないですか。こういう嚴重な土捨て場ならあります。たまたま今日車の中にあつたものですから持ってきましたけれども。これ全景です。そして、大沢川に落ちるのはみなさんご存じでしょうけれどもこのトンネルですね、ちょっと良い写真がないですけども、もう少し良い写真があればわかりやすいですけども、これで大沢川に入ります。えっとまだ1回ですね？

そして、香草の中和です。品木ダムは良くわかっていますが、香草の工場のその下をあるんですけども、こういった方法です。こういったことがあんまり浮かびあがらない、是非こういった問題が、あのヒ素の問題ってのは大事ですよ。どうかこういうことを考えて本当にこのダムの方がいいのか。作るべきか、どうかという事を考えてください。私は長生きしたいと思いますよ。ほんとに、そういう意味では、災害はね、起こるべきして起こって望むものではございません。でも、このままいけばそれから、すいません、マスコミさんも是非聞いてください。昨日一昨日の、一昨日のですね学識者の聴取については、あれは、単に意見を言う会であつて多数決を取る会ではなかったでしょう。にも関わらずあたかも13人のうち1名が賛成したようなこと。こういうのってこれを見てですね、一般、それしか知らない方は本気にしますよ。あの場でも十分びっくりしました。私も午後まで全部しゃべると思ひまして、何時で終わりですかと聞いたくらいですけども、はっきり言って学者の世界は動いています。そして私達の意識も変わっております。そういう時代において国交省職員さんの優秀なる頭脳をこんな無駄なことに使うことを国家の損失と考えます。ほんとに同じ市民として腹だたいですよ。どうか公務員さんていうのは、みんなが生き活きと生きられる世の中を作るために動いてくださるのと。私は子供の頃から思っていました。今も信じております。信じてございます。どうか皆様方が力をあわせればこの体制を崩せるものと思います。そして是非現地の中に入ってください。私はあることで、高齢の女性を集中して取材させてもらっております。あの、壊された時のことを思うと涙がでるよと。うちの家が壊されていくのが、私は前の晩から寝られなかったよ。そして越してみれば先ほどの発表者方のように大変凄惨な税金です。あたし、息子がいるから払えるけれども、私の年間収入が、いっきでございます。

年間収入は、あたしはそれにも満たしませんけれども、でも思い余って今やらなければどうしようもないという思いで、先般このような場にきさせて貰いました。終わります。いつもすみません。大変大きな声で失礼致しました。

以上